

六甲カトリック教会 教会報

1

No.577



すべてのいのちを守る

Protect all life

新年にあたって今一度教皇さまのお言葉をかみしめよう



信徒のみなさま、それぞれつつがなく新年をお迎えになったことと思います。「つつがなく」とは「恙無く」すなわち無事にと言う意味ですが、世の中はつつがなく動いているでしょうか。いえいえ、少しずつ変化しています。その変化が進歩に通じればいいのですが、必ずしもそうってはいないようです。「少しずつ変化」のなかに気候変動があります。いつの間にか猛暑、風水害、地震など自然災害が数多く目立つようになりました。昨年の年末にスペインで開催されたCOP25(国連気候変動枠組み条約国会議)は過去の会議より時間をかけて討議されましたが、結局は各国の事情や思惑が絡んで、妥協的な合意にしか至りませんでした。環境運動家グレタさんの望んだようにはならなかったようです。「危険気候」に立ち向かう意識が揃わないのです。そんななかで教皇は問題に真正面から取り組み、目先の政治や経済を支配する指導者たちに堂々と正論をぶつけていらっしゃいます。理想と現実は違うというなかれ、いまそこにある目に見えない、いやうっすらと見えてきた危険には今すぐにでも対策を立てねばなりません。気候変動、テロと戦争、格差と貧困、世界には人類の生存にかかわる問題が目の前に横たわっています。来日中に教皇は主に9箇所スピーチされましたが11月25日には首相官邸で政府、外交団との懇談の席上、以下のように述べられました。

「私たちの地球を保全するための統合的アプローチは、ヒューマン・エコロジーをも考慮しなければなりません。保全のための責任ある取り組みは、広がりつつある貧富の格差、すなわちグローバルな経済システムにおいて、特権的なごく少数の人が甚だしい富に裕している一方で、世界の大半の人は貧困にあえいでいる、という事実立ち向かうことを意味します。これについて日本政府がさまざまなプログラムを促進しておられることを存じております。国家間の協働責任の意識を高める啓発を続けて下さるよう励まします」(カトリック中央協議会訳)

教皇の日本国にたいする期待は大きいのです。教皇に励まされ、私たちも前に進まなければなりません。阪神大震災から25年、身近なところから始め、そして地球規模の「すべてのいのちを守るため」とともに歩んで行こうではありませんか。

(編集部)

第4回小教区評議会議事録(要約)

2019年12月8日(日)12:00~13:30 於:第4会議室

参加者(敬称略):アルフレド主任司祭、中村治也(議長) 鍵山浩二(副議長)、保坂真理(副議長)、
以下各部コーディネータ 書記 事務所

1. 主任司祭の挨拶

- ・教皇様が来日され私たちは多くの恵みをいただき、それをどう活かすか各自考えなければならない。

2. 協議事項

(1) 2020年度活動計画と予算申請について

- ・典礼部:新規典礼奉仕者を増やす。侍者練成会を6月に2回、典礼奉仕者の集いを9月に1回、音楽奉仕者の集い1回、祈りと音楽の集いを4回行う。侍者服を新調するための予算(10万円)を計上。
- ・広報部:教会報の発行をメインとするがホームページの充実も図る。
- ・教会学校:教会の将来を担う子供たちへの信仰教育とリーダーの育成を目指す。
- ・宣教部:春(酒井補佐司教)秋(堀江節郎神父)2回の黙想会を予定。5月に巡礼を予定。
- ・評議会:予算に関しては防災計画関連などの費用などが増加。
- ・婦人会:壮年会との合同で日帰りバスツアーを計画。
- ・施設管理部:聖堂内のモニター設置をする予定。
- ・修室の改修1月~3月(工事費はイエズス会が負担する)
エアコンを効率の良いものに替える。
- ・社会活動部:6月か秋に勉強会を予定。教会の枠を越えて支援を必要とする人の支援をする。8・11以外の月1回、及び越年越冬の炊き出し。
- ・壮年会:婦人会と合同で日帰りバスツアー。おしゃべり会の開催。

(2) 年間行事予定表 訂正事項は年内に提出

(3) 小教区評議会規約改正について

- ・大阪教区によって示された規約改正について。評議会は主任司祭が主宰する諮問機関であり、出席議員の参考決議を受けて主任司祭が決定する。重要事項において可否が分かれる場合は可能な範囲で時間を空け継続審議とする。となった。

(4) チャリティーバザーの献金先について(略)

3. 報告事項

(1) イエズス会4教会 web 会議(11/9)

- ・4教会の近況報告
- ・ことしもクリスマスのメッセージ交換をする

(2) チャリティーバザー(11/10)報告[井川地区役員代表]

- ・ボランティアによる親子木工教室が盛況のため来年も開催予定。

(3) 教会大掃除、地区役員会(11/16)報告[井川地区役員代表]

- ・教会大掃除:落葉が多いので来年は12/5に開催。雨天時の予備日として外溝のみ12/12に。
- ・来年度 5/10 に10時ミサ後8地区が一斉に懇親会を開催する。
- ・教皇来日行事

*六甲教会 イグナチオホールで長崎のミサ・東京ドームのミサの YOU TUBE のパブリックビューイングを開催。
24日80名 25日40名参加 25日は原因不明のアクシデントがあり画像が映らなくなった。

*東京ドーム日帰りツアーに日帰りグループ21名、宿泊グループに14名参加。個人参加の方が長崎のミサが約10名、東京ドームのミサが約13名。パブリックビューイングの方と合わせて180程の方々が教皇のミサに与った。広島に行かれた方もおられる。

次回は2020年2月2日(日)12時より 於:信徒会館第4会議室

以上



Merry Christmas !

2019クリスマスメッセージ交換

クリスマス！！

イエス様から私たちに訪れてくださった日
喜びを周りの人々と分かち合う日



山口カトリック教会

司祭団 主任司祭 百瀬 文晃SJ
ルイス・カンガスSJ
桜井 彦孝SJ
信徒一同

主のご降誕おめでとうございます。



私たちがキリスト者として、真の愛と深い交わりを求めて、互いに理解し合い、愛し合い、赦し合い、助け合う共同体となることができま
すように。

六甲カトリック教会

主任司祭 アルフレド・セゴビア
中村健三神父
信徒一同

主のご降誕をお喜び申し上げます。



教会の門で見上げるヒマラヤ杉が、献堂20周年を迎えた今年はさらに大きな実をつけました。来る2020年度は"協働"をテーマに歩みます。山口教会、祇園教会、六甲教会の皆さまとの絆がますます強められ、ともに主の御心に叶う働きができますように！

麴町教会

英 隆一朗 主任司祭
共同体一同

Merry Christmas

神はあなたが大好きなのです。
人生に何があろうとも、
決してこれを疑ってはいけません。
いかなる状況にあっても、
あなたはどこまでも愛されているのです。
フランシスコ教皇

38年ぶりにパパ様をお迎えした広島の地より。



祇園教会

主任司祭 清水弘
助任司祭 高山親
信徒一同

イエズス会長東修道院共同体
イエズス会廣牛カトリックセンター
エリザベト音楽大学
広島学院中学校高茶学校
清心幼稚園

三日月会よりお知らせ

2020年1月20日(月)の「三日月会新年会」の参加申し込みは、1月5日(日)までとなっていますので、参加される方は聖堂前の三日月会の箱にお入れください。尚、新年会の内容の詳細及び申し込み用紙は、同じく三日月会の横にあるチラシをご覧ください。

教皇様来日

【東京ドーム】教皇様が38年ぶりに来日され、長崎と東京でミサが行われることが発表されたのが、9月13日。翌日14日(土)、15日(日)の主日ミサと週報において、東京ドームでのミサと一緒に参加しましょう、と呼びかけがありました。

早速、申し込みが開始され、最終的に六甲教会としてまとまって参加したのは、日帰り参加の21名とミサ後宿泊する14名になりました。東京ドームのミサは5万人が集まる！どのような雰囲気になるのか、まったく想像できませんでした。

東京ドームに入場し、座席に着席してみると教皇様が現れるであろう祭壇上の人々は米粒大にしか見



えず、教皇様のミサに与るのだという実感はまだ湧いてきませんでした。待つこと1時間半。パパモビールに乗った教皇様の姿がスクリーンに映し出されると、ドーム中は歓声で満たされ、手に持ったバチカン国旗を力いっぱい振って教皇様をお迎えしました。ミサが始まると大歓声は静寂に変わり、ミサは日本語、ラテン語、英語が入り混じって進行。特に共同祈願はベトナム語、韓国語、タガログ語、スペイン語と近隣各国の言語で唱えられたので、アジア全体で教皇様と共にミサを捧げているように感じられました。聖歌も、5万人の人々に一緒に歌いましょうと呼びかけられるようにシスターが大きく手を振って聖歌隊を指揮しておられたので、それに応えるように大きな声で歌いました。

同日、イグナチオホールでは youtube のライブ配信投影によりパブリックビューイングが行われ、40名弱の方々が教皇様のミサに与ったそうです。六甲でパブリックビューイングに参加している方々と共に心を合わせ、また youtube で視聴している何万人もの人々とも日本での教皇様のミサに与ることができた。それは、38年前とはまったく異なる形での「つながり」の体験でもありました。(橋 道子)

【長崎】錦秋の美しい時期である筈の日本へ、残念にも突風の舞う中、フランシスコ教皇様が羽田に降り立たれました。人類の救いと幸せを願われ、カトリックのトップとしての重責を担われるパパ様の御姿を映像で胸の熱くなる思いで拝見致しました。そして幸いにも長崎での御ミサに与るチャンスを手にし11月24日の早朝、長崎へと向かいました。長崎本線諫早の辺りから雨足が強くなっていたので、鈍色の海を眺めながら御ミサの状況を心配しましたが、長崎駅に着いた頃には雨は上がり、会場の県営球技場ではお恵みではないかと思われる程、空は真青で太陽が燦燦と球場の三万の人々の上にふりそそぐという信じられない状況となりました。白い祭服の教皇様がカートに乗られてお姿を現された時の「パパ様!!、教皇様!!」の歓声は、御目にかかれた歓びと尊敬、敬愛がみなぎり、私自身も感激で目頭が熱くなるのを憶えました。長崎は殉教と被爆という二つの辛苦の記憶が刻まれた地です。多くの罪なき人々の鎮魂を胸に、この地で御ミサを、と教皇様は格別な御気持だったと思います。その御ミサに与らせていただく事が出来たのは、私にとり何と言う素晴らしい御恵みでしたことか。この幸せを心から感謝致しております。沢山の外国からのツアーの方々や各地から来られた方々と心をつなげて祈ることが出来、心豊かに帰って参りました。八十三歳と言うご高齢で、来日以来大変なスケジュールをこなされた教皇様に改めて一信徒として心から御礼申し上げたいと思います。そして一人の人間として平和、核廃絶の問題に無関心ではなく意識することを心がけ生きて行こうと思う私でございます。(野村 壽子)



みんなの広場

～5万分の一の眩き～

11月25日東京ドームに行きました。もちろんフランシスコ(第266代)ローマ教皇のミサにあずかるためです。教皇様が来日されるのは38年ぶり。「当時は教会から離れていたなあ。今は敬虔な(?)信者だから、行くべ～」と馳せ参じた次第です。5万人のうちの一ぐらい不謹慎でお許しあれ。「久しぶりの東京だし、ついでに大嘗祭あとの皇居も見物して」と、してはならない物見遊山気分です。教皇様を迎える熱狂ぶりは、まるでロックスターのライブイベントばりの盛り上がり。なんなんだこれは。

映像の字幕がよく見えなかった「お説教」でしたが、帰ってからネットでよく読みました。そのなかで、今の日本の若者が、いかに抑圧され束縛されているか、自分の存在の意味を見出せず社会の隅にいる者や、利益と効率を追い求める過剰な競争によって当惑と不安を感じている者が多くいると触れられていました。

「わたしたちはこの世界の主人でも所有者でもなく、あの創造的な夢にあずかる者なのです」「与えられた美と善は、それを分かち合い、他者に与えるためのもの」と語られています。

窮すれば鈍する。教皇様ご自身貧しい暮らしだったとお聞きます。私自身も、貧しさが、どれだけ心をすまさせるかを知っています。また、心療内科に通う若者に接することもあります。今、与えられていることに感謝し、自己をどれだけ与えられるかを問う毎日です。(マルガリタ マリア)



静修会のご案内

～ともに、この一年をふりかえりましょう～

テーマ 『エコロジカルな霊性を』

教皇フランシスコ 回勅「ラウダート・シ」より



日時： 2020年2月8日(土) 13:00～16:00 (12:30より受付)
場所： カトリック明石教会
指導： 松浦 謙 神父
申込： 神戸地区社会活動委員会事務局 fax 078-221-4733
e-mail sinapiskobe@yahoo.co.jp
締切： 2020年2月2日(日)
主催： 神戸地区社会活動委員会 シナピス神戸

社会活動部

- ◆1月11日(土)10時 炊き出し (イグナチオホール台所)
小野浜グランドにて、おじさんたちのお話相手や配食だけでもOKです。
- ◆1月19日(日)10時ミサ後 ふれあい広場 (イグナチオホール)
- ◆1月24日(金)9時半 ともしび会 施設の子どもたちへのケーキ作り(イグナチオホール台所)

クリスマス音楽の集い

恒例の「クリスマス音楽の集い」はことしは12月22日(日)の午後開かれました。聖歌隊を中心としてすべて教会の信徒が演奏しました。とくに内藤・大津さんの古楽器演奏は聴衆の心に深く響いたようです。詳細は2月号に掲載の予定。(編集部)

心あたたまるクリスマスチャリティーコンサート 2019



昨年の12月7日(土)神戸中央教会で、野宿者を支えるために活動されているカトリック社会活動神戸センターを支援するためのクリスマスチャリティーコンサートが開かれました。このコンサートは、始まってから14年目を迎えました。教会内外問わず、今回は11グループが出演しました。最後は野宿者生活をされてきたおじさんたち「むかし、少年合唱団」が、YMCAを振付をつけて歌われ、逆に私たちが励まされたような気がしました。また、長年炊き出しを私たちと一緒にしてくださっていたおじさんの一人がついこの間亡くなり、彼にまつわる思い出を仲間が語り、彼がこよなく愛していた「もみの木」を会場の人たちと一緒に歌い、涙と笑いの交じったとてもアットホームなコンサートでした。最後は中庭でおじさんたちが作ってくれたあたたかい具たくさんスープをみんなでいただいて、解散となりました。この日集められたチャリティー募金額は、156,404円で、早速カトリック社会活動神戸センターに渡されました。コンサートに来てくださったみなさまご協力ありがとうございました。(社会活動部)

♪ メサイアコンサート御礼 ♪

昨年12月8日(土)のメサイアコンサートは、大勢のお客様の暖かい励ましを感じながら楽しく演奏出来ました。感謝の気持ちで一杯です。アルフレド神父さまをはじめ教会の皆様には練習、本番を通して様々な配慮いただきましたこと心より御礼申し上げます。またご来場の皆様からのあたたかい献金も有難うございました。(メサイア実行委員 堀江礼子)

聴衆の声1

メサイアコンサートには8年前から楽しみに聴きに来了います。今年も家族で聴きに来了ました。音楽を通して人と人との結びつきが深いものになっています。感謝の気持ちで一杯です。(川西弥恵)

聴衆の声2

退屈かと思いましたが、素晴らしい会場での演奏に満ち足りた時間を過ごすことが出来ました。男声を揃えられた合唱の重厚さには羨ましさを感じました。(今井絃明)

施設管理部園芸係



昨年12月、寒波も和らいだ青空の下、春に向けて花壇の植え替えを致しました。土と植物に触れていただく事は精神、健康面において活力と楽しみを与えてもらえる時間です。2年前から植え替え時に、お手伝いしていただけの方を週報、会報を通じてお願いしております。

今回の庭師は若い方の参加で平均年齢がグーンと若返り、4カ所をグループ事に担当し、デザインしていただきました。マリア様のミニガーデン、日本庭園の葉ボタンの植え込み、クリスマス、新年に間に合うよう、それぞれに特徴のある仕上がりになりました。そして春に向けて植物たちの元気な成長を楽しんでいただけます。

毎日、早朝から舞い散る落ち葉を、お掃除して下さっている方々のおかげで私達の教会は美しさと静寂さが保たれています。園芸係の仕事は四季を通して水撒き、草抜き等いろいろあります。少しの時間でも参加してみようと思われる方は事務所までお申し出下さい。

謹んで、クリスマスと新年のご挨拶を申し上げます。倉庫から引っ張り出しホコリを払い落して飾り付けた飼葉桶を前に、静かに過ぎ去った年月を振り返り、またこの未知な新しい一年をいかに迎えるのか、ジックリ想いをめぐらそう。まずは、既に過去となった悲喜こもごもの出来事を感謝のうち思い出し、また先行きは不明で全く見通しは立たないままに、泣いたり笑ったりしながらもすべてを神の御手から戴き、新年に起こる一切を委ねる覚悟を固めたいものだ。今年はどうな年になるのかという問いと、どんな年にしたいのかと問いとは、かなり違いがある。だからこそ一年の計は元旦にありと、あれこれ思いめぐらし新たな計画を立てよう。たとえ夢が破れ志とは異なる現実となっても、元のモクアミの悲哀に終わっても構わない。敢えて新たな一步を踏み出そうではないか。何かやりたい事がないか、何処か行きたい所がないか、何か新たに学びたいことは？私は23日に奈良をさまよい歩いたが、帰りの電車でふと目あげてみると、年配の方が「三味線の弾き方」という本を熱心に読んでいたっけ。

新聞にテレビに、今年の十大ニュースが報じられている。政治・外交・経済・文化などの各分野で、重大な影響をもたらす事柄が提起されている。日韓の疎遠、天皇の譲位、令和への改元、トランプ大統領の政策、ローマ教皇の訪日などなど。しかし大きな出来事とは別に、私が

直接に関わるごく個人的な一身上の出来事も当然あるにちがいない。日本では25日のクリスマスが終わるとすぐさまツリーを片付け、年越しの準備・大掃除・門松の飾りつけ・年賀状書きなどで大忙しになる。しかし何も慌てる必要がない。教会では1月16日に主イエスの洗礼を記念するが、その日まで飼葉桶を前にご誕生の意味をゆっくり念入りに掘り下げようではないか。私たちが心新たに再出発を図ろうとすることはイエスと何か関わりがあるのか。貧しさの極み、無力と無防備のままに神の御子イエスは泣き声をあげ、マリアの乳房にすがり付き、貧しい産着につつまれて憩う。私たちはといえば、ちっぽけな権力や実績を振りかざし、金に依り頼み、衣食住に満ちたりて人前の評判や評価に囚われている。私たちの現実と、イエスは何と遠く隔たることか。アッシジのフランシスコは、イエスの貧しい誕生を思い起こしながら飼葉桶を作ったといわれている。だからフランシスコ教皇は各家庭で毎年、イエスの飼葉桶を飾るように勧める。それは神の途方もない愛の大きさを思い返し、イエス誕生の神秘を年毎に黙想するようにとの促しである。また私たちの生活や思い煩いが、イエスの福音とかけ離れているかに気づき、また貧しく虐げられている人々への連帯と共感を奮い起こすからである。時は満ちた、神の国は近づいた。悔改めて福音を信じなさい。（中村健三 合掌）



広報の編集に携わるようになってから、やたらと新聞・他機関の広報・ピラなどが気になるようになった。見出し・レイアウト・イラスト等々、お手本になるものを探しているのである。これが高じて、ついに街中の看板や電車内の広告にも目が行くようになった。そして、時々、ぎょっと驚く経験をする。私の「作品」に酷似したものに出遭ったときである。そんなとき、「決して真似をしたわけではございません」と心の中で一生懸命釈明している私がいる。

(E.M.)

【 2020 年 1 月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			神の聖母マリア ミサ 8:30 11:00 世界平和の日	教会受付年始 休み(~3日)	初金曜日ミサ 7:00 10:00	
5	6	7	8	9	10	11
主の公現 ◎日曜班						社会活動部炊き出し 典礼部会 10:00 クリスマスの片付け 13:00
12	13	14	15	16	17	18
主の洗礼 新成人祝福式と 教会新年会	教会受付休み (成人の日のため)				阪神淡路大震 災追悼祈念の 日ミサ 10:00 ◎灘北2・阪神	キリスト教一致祈禱 週間(~25日) 教会学校始業式・ もちつき
19	20	21	22	23	24	25
年間第2主日 ふれあい広場	三日月会 ミサと懇親会			定期清掃		聖パウロの回心
26	27	28	29	30	31	
年間第3主日 世界こども助け合 いの日(献金)					◎灘南・神戸西	

◎は掃除当番地区です。

次回2月号の発行は、2月1日(土)です。

原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持
参いただくか、FAX やメールでお願いいたしま
す。皆様からの原稿をおまちしております。

(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

六甲カトリック教会

〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21
電 話 078-851-2846
F A X 078-851-9023
E - メール renraku@rokko-catholic.jp
発行責任者 アルフレド・セゴビア
編 集 広 報 部